

「持続的に発展する島根の農林水産業・農山漁村の実現!」

—地域の創意工夫と多様な主体の参画・協働による展開—

新たな 農林水産業・農山漁村 活性化計画

[活性化ダイジェスト編]

2008 → 2011

平成20年3月

島根県農林水産部



新たな農林水産業・農山漁村活性化計画

この計画は、社会、経済情勢の大きな変化に的確に対応し、島根の農林水産業・農山漁村が持続的に発展できるよう、長期的展望に立って目指すべき将来像やその実現のための施策と、当面における戦略的な取組を明らかにするため策定！

計画の性格

- 島根総合発展計画における農林水産業・農山漁村振興に関する部門計画
- 「しまね食と農の県民条例」(第15条)に基づく基本計画
- 市町村、関係団体等の諸計画や各地域における農林水産業・農山漁村活性化のための施策推進の共通指針

計画の構成と期間

- **基本計画**
おおむね10年後における島根の農林水産業・農山漁村の将来像と基本目標及び施策の基本方向等を明示
- **戦略プラン**
計画期間：
平成20～23年度までの4年間
基本計画に基づく実践計画(行動計画)として重点的、集中的に実施する具体的取組(プロジェクト)を明示

計画推進の基本姿勢

- 計画推進の基本姿勢を県民の主体的「参画」と行政と県民または県民相互の「協働」として推進
- 計画は、PDCAサイクルを活用した進行管理の下、活動の成果と課題を踏まえ行動計画を随時修正しながら推進

基本

島根の農林水産業・農山漁村の役割

- 県民への食料や木材の安定的な供給
- 生活・就業の場の提供
ー 農林水産業への就業による所得の確保ー
- 県土・環境の保全や美しい景観の形成、農山漁村の伝統文化の伝承
- 豊かな心を育む教育の場、癒しの空間の提供
- 地域経済を支える基幹産業

今後ともこうした役割は変わることはなく、農林水産業者を含め全ての県民が島根の農林水産業の価値を再認識するとともに、農山漁村を県民の共有の財産として、これを大切に守り育て、次代に引き継ぐことが重要！

島根の農林水産業・農山漁村を巡る時代の潮流

- 少子・高齢化社会の到来とグローバル化の進展
- 「食」の安全・安心志向の高まりとニーズの多様化
- 地球規模での環境問題が顕在化する中で、農林水産業においても二酸化炭素吸収源対策や環境への負荷軽減による持続的な生産活動への関心の高まり
- 成熟社会への移行に伴い価値観の多様化が進みライフスタイルが変化する中で、都市農村交流や定年帰農といった精神的な豊かさを求める社会情勢の変化
- 県民、NPO、企業等の参画による様々な協働活動への関心の高まり

島根の農林水産業・農山漁村の現状

- 小規模零細で脆弱な生産構造
- 従事者の減少や高齢化の進行、グローバル化の進展、産地間競争の激化等により農林水産物生産の長期的な減退
- 農山漁村地域の過疎・高齢化や集落機能の低下により生産活動が停滞するとともに、耕作放棄地や荒廃森林が増加、中山間地域を中心に鳥獣被害による生産意欲の減退等深刻な影響
- 限界集落や危機的集落が増加、地域社会の維持存続が危ぶまれる状況
- 地域自らの創意工夫と努力により地域資源を活用した先進的取組の芽生え

新計画 4つのポイント (特徴)

暮らしと結びついた 農林水産業の明確化！

高齢者、集落営農組織など小規模な主体による産直や集落機能を維持する取組など、経済的な自立は困難であるが地域を元気にする暮らしと結びついた農林水産業の位置づけや役割を明確にし、産業として自立する農林水産業とともに振興します。

プロジェクト方式 による地域課題への 機動的対応！

平成23年度までの4年間に重点的かつ集中的に実施する地域課題解決に向けた具体的なプロジェクトを県及び地域段階で立ち上げ、関係機関、団体等の連携の下、県民の参画も得ながら機動的に推進します。

時代の流れを捉えた 戦略的取組の展開！

戦略プランでは、島根県独自の産品認証制度の創設、分野の垣根を越えた地域ブランドの育成、国の米政策の見直しに対応した水田農業の刷新と耕作放棄地解消に向けた取組の展開、集落営農組織等による地域を守る仕組みづくり、農林水産商工連携による地域資源を活かした総合的な産業戦略の展開など、時代の流れに即応したプロジェクトを戦略的に展開します。

農業、林業、水産業の 各分野の計画を一本化！

分野の垣根を越えた地域ブランドの育成、「食」や「環境」といった分野横断的な課題への効果的対応など、分野連携による総合的な施策を展開します。



島根の農林水産業・農山漁村が 目指すべき将来像

● 産業として自立する農林水産業

企業的経営体等による、売れるものづくりを通じた、経済的に自立できる効率的な農林水産業の展開

● 暮らしと結びついた農林水産業

経済的な自立は困難ながら、高齢者、地域貢献型集落営農組織など様々な小規模な主体による、農林地の保全や集落機能の維持への貢献、生き甲斐としてのものづくりや多彩なコミュニティビジネスといった地域の暮らしと結びついた農林水産業の展開

● 活力ある元気な農山漁村

地域内外の多様な主体の参画による持続可能な地域運営や資源管理等を通じて、快適で安心して暮らせ、訪れることで喜びを感じることができる魅力ある農山漁村

基本目標

持続的に発展する島根の農林水産業・
農山漁村の実現！

—地域の創意工夫と多様な主体の

参画・協働による展開—

施策展開の基本方向

I 県民の「安心」と「誇り」の実現

- 1 生産者と消費者の信頼関係構築による安全・安心の醸成
 - 島根県産農林水産物の安全・安心認証制度の構築
 - GAP手法の導入促進
 - トレサビリティシステム導入促進と消費者への情報開示のしくみづくり など
- 2 農林水産業、農山漁村の役割への県民理解促進
 - 県民一人ひとりが農林水産業や農山漁村の役割を再認識し、社会全体で守り育てる機運の醸成等のための各種広報活動や県民参画の提供 など

II 消費者に買ってもらえる商品づくり

- 1 多様な流通・販売の推進
 - 県内の流通販売体制の整備(地産地消の推進、木材流通の効率化、観光連携等)
 - 県外に向けた流通・販売体制の整備(大都市圏での販売チャネルの開拓…にはんばし島根館の活用、島根フェアの開催、生産者、流通業者の出会いの場づくり等)
 - 国外販路開拓への対応(東アジアを中心とした輸出の促進、観光連携) など
- 2 消費者ニーズに対応した競争力ある生産体制の強化
 - 地域の特色ある米づくりなど、安全・安心で高品質な島根ならではの製品の生産
 - 契約取引の推進
 - いつでも木材を安定的に供給できる森林づくりと確かな品揃えができる木材製品づくり
 - 漁業資源管理や増養殖の推進による漁業生産の安定化と魚価の改善
 - 隠岐のイワガキ、浜田のどんちっち等の地域ブランドの推進
- 3 消費トレンドや社会変化に対応した試験研究と技術支援
 - 時代の求めに対応する技術開発(温暖化や環境負荷軽減、バイオマス利用技術)
 - 競争力強化のための戦略的な技術開発(消費者ニーズに対応した品種、加工製品の開発、鮮度保持、貯蔵、輸送技術の開発等)
 - 新たな農林水産業を創造する普及事業の展開(高度技術指導、経営力向上指導)
- 4 生産を支える基盤の整備
 - 基礎的な生産基盤の整備・保全(用排水施設、森林作業道、漁場等の整備・保全)
 - 効率的・安定的な経営基盤の確保(土壌、排水条件等の改良、漁港施設の整備、道路網、流通施設等の整備)

III 地域の実情にあった担い手づくり

- 1 産業として自立する担い手の確保・育成
 - 認定農業者、農業参入企業、特定農業法人・団体等の確保
 - 林業事業体の組織強化
 - 漁船漁業構造改革
 - 農林高校、水産高校等との連携による新規就業確保
- 2 地域を守る担い手の育成・確保
 - 森林組合等による地域の農地・森林の維持保全のしくみづくり

IV 魅力ある農山漁村づくり

- 1 いきいきと暮らすための仕組みづくり
 - 集落ぐるみで支え合うしくみづくり
 - 地域貢献型集落営農組織の育成
 - 広域的な地域コミュニティの創出と集落機能の再編
- 2 地域資源を活かした農山漁村の活性化
 - 地域資源活用によるコミュニティビジネスの推進
 - Uターン、二地域居住等定住促進
- 3 快適に暮らせる農山漁村の整備
 - 災害に強い地域づくり
 - 快適な生活環境の整備
 - 有害鳥獣対策

V 環境保全と多面的機能の維持増進

- 1 地域資源の維持保全活動
 - 県民と行政が一体となった農地、森林、川、湖、海等の保全活動の推進 など
- 2 環境負荷の軽減と資源の循環利用
 - 有機農業等環境に配慮した生産技術の推進
 - 家畜排泄物、食品残渣等の循環利用促進
 - 林地残材、竹等木質バイオマスの利用促進 など

圏域別の発展方向

松江圏域

立地条件を活かした都市近郊型農林水産業・農山漁村づくり
 ■ 県内最大の消費地への新鮮・安全な農林水産物供給
 ■ 地域の建物に使える地域材製品の供給体制づくり
 ■ 水域の多様性を活かした水産業育成 など

出雲圏域

島根をリードする先進の出雲農業と豊かな自然環境を活かした特色ある農林漁業の進展
 ■ 水田農業の持続的発展、環境に優しい農業の展開
 ■ 製材加工体制の整備・地域材の利用拡大
 ■ 儲かる沿岸漁業の育成 など

雲南圏域

豊かな自然を生かした活力ある「美しいふるさと雲南」の創出
 ■ 「奥出雲ブランド」の展開、「地産地消」を「地産都商」へ拡大
 ■ 鳥獣被害対策の充実と森林資源の有効利用
 ■ 豊かなふるさと川のづくり など

自然環境
 農林水産物
 ■ 世界遺産
 ■ 特色ある産地

県及び地域プロジェクト

● 県プロジェクト
● 地域プロジェクト

分野連携・共通戦略	農業・農村戦略	森林・林業戦略	水産戦略
<ul style="list-style-type: none"> ● 島根の農林水産物「安心・安全」 ● 農林水産業、農山漁村の役割への県民理解促進 			
<ul style="list-style-type: none"> ● 島根県産品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ① 地産地消の推進 ② 県外販路の拡大 ③ 農林水産物等の輸出促進 ● 「奥出雲和牛」産地づくり(雲南) ● 産直市を核とした地産地消推進(浜田) ● 「隠岐ブランド」育成(隠岐) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特色ある米づくり ● 売れる商品づくりに向けた園芸産地の収益構造改革 ● 市場から評価される「しまね和牛」生産 ● 開発農地営農推進 ● 産直活動のステップアップによる新鮮・安全・安心な農産物供給(松江) ● ほたん等園芸農産物の台湾等への輸出拡大(松江) ● 園芸産地活性化のための担い手育成(松江) ● 出雲ブランド確立(出雲) ● 販売を起点とした水田基幹品目の推進(出雲) ● 野菜産地再生(出雲) ● 雲南のエコロジー米(雲南) ● 園芸の振興 こだわりの産地づくり(雲南) ● 産直の販路拡大(雲南) ● 横田国営農地再生(雲南) ● 「石見銀山遺跡」世界遺産登録を活用したブランド化推進(大田) ● 耕畜連携による農業生産体系の確立及び放牧推進(大田) ● 新たなビジネスチャンス形成(浜田) ● 浜田圏域農産物パワーアップ(浜田) ● 西いわみ農産物の有利販売(益田) ● 隠岐のこだわり米(隠岐) ● 「隠岐牛」産地拡大(隠岐) ● 隠岐の地産地消マーケット展開(隠岐) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 木材生産団地化推進 ● 木材安定供給体制確立 ● 木材需要拡大 ● 木材生産団地化推進(松江) ● 地域材供給システム構築(松江) ● 木材生産団地化推進(出雲) ● 出雲木づかい推進(出雲) ● 木材生産団地化推進(雲南) ● 木材生産団地化推進(大田) ● 木材生産団地化推進(浜田) ● 浜田地域産木材需要拡大(浜田) ● 木材生産団地化推進(益田) ● 乾燥材製品の供給(益田) ● 隠岐(しま)の木利用拡大(隠岐) ● 隠岐(しま)の木生産団地化(隠岐) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 売れる水産物づくり推進 ● 水産資源の維持培養 ● 穴道湖・中海水産資源の維持再生 ● プリ価格向上(東部) ● 高品質サワラの生産拡大(東部) ● ワカメ養殖振興(東部) ● 石東売れるしまねの水産物づくり(西部) ● 「隠岐のいわがき」ブランド化推進(隠岐)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営体として発展する担い手の確保・育成 ● 園芸産地活性化のための担い手育成(松江 再掲) ● 自立する集落営農組織づくり(雲南 再掲) 		<ul style="list-style-type: none"> ● 担い手確保・育成 ● 意欲と能力のある担い手への支援(東部) ● 浜田地区における漁船漁業構造改革(西部) ● 益田地区における沿岸漁業活性化(西部) ● 漁業の担い手確保・育成(隠岐) ● 隠岐のまき網漁業構造改革(隠岐)
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域を守るしくみづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地域担い手育成(松江) ● 自立する集落営農組織づくり(雲南) ● 地域を支える集落営農組織育成と獣害対策による地域農業維持(大田) ● 地域農業を守る担い手育成システムの構築(浜田) ● 持続可能な農村モデル形成(浜田) ● 担い手不在地域対策(益田) 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 高津川流域保全(益田) ● 森づくりは海づくり(隠岐) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境負荷軽減・資源の循環利用促進 ● 水田の利活用促進 ● エコロジー農産物・有機農産物の生産拡大と販売促進(大田) ● 地域農業を守る担い手育成システムの構築(浜田 再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 木質バイオマス利用促進 ● 県民との協働による森づくり推進 ● 森林整備協定推進(雲南) ● 菌床しいたけ生産振興(雲南) ● 石見銀山地域における森林整備・保全(大田) ● 石見地区木質バイオマス事業化(浜田) ● 自治会による海岸林の保全・整備推進(益田) ● 原木しいたけ・林野産物振興(隠岐) 	<ul style="list-style-type: none"> ● しまねの鮎の里づくり ● 石見地区におけるアユ資源復活(西部)



<h3>大田圏域</h3> <p>環境に配慮し、環境と共生する元気な産業・農山漁村づくり</p> <p>● 産「石見銀山遺跡」を活用した農林水産業の振興ある農産物づくり、いつでも木材を供給でき産地づくり、新鮮で安全な水産物の供給 など</p>	<h3>浜田圏域</h3> <p>豊かな地域資源を活かした「元気な農林水産業」の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 特選素材はまだ園芸ブランド形成 ■ 多彩な交流活動の展開によるふるさとづくり ■ 地域の木を使うはまだの森づくり ■ 水産のまち「はまだ」の振興 など 	<h3>益田圏域</h3> <p>ふるさと西いわみの豊かな自然に育まれた元気な農林水産業とそれをリードする人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ キラリと光る西いわみブランドづくり ■ 循環する高津川流域の山づくり ■ 新たな漁業技術の開発と資源の再生・活用 など 	<h3>隠岐圏域</h3> <p>隠岐の特色を活かした農林水産業の積極的な展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 隠岐地域の立地条件を活かした産地づくりと地域ブランドの育成 ■ 持続可能な森林経営の確立 ■ 住民参加による荒廃森林の早期回復 など
---	---	---	--

戦略プランにおける県及び地域プロジェクト概要一覧

① 分野連携・共通戦略プラン

(1) 県プロジェクト

No.	対象地域	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	取組概要等
1	県 全域	島根の農林水産物「安全・安心」	消費者が安心して県産農林水産物を購入するため、生産段階での安全確保とその取組等を消費者自身が確認できる仕組み等の構築	GAP手法導入など生産現場での安全確保対策、県推奨産品のPR、トレーサビリティシステムの構築と利用促進等
2	県 全域	農林水産業・農山漁村の役割への県民理解促進	農林水産業、農山漁村の役割について県民の意識喚起とともに具体的取組や活動への誘導	消費者との協働による普及啓発活動、地域・生産者一体となった農林水産物サポーターづくり等
3	県 全域	島根県産品の販路拡大 ①地産地消の推進	産直の拡大、量販店での県産品の取扱、加工業者等での県産原材料活用などによる地産地消の総合的な推進	県産品愛用運動の推進、生産者と小売、飲食店、加工業者とのマッチング支援等
4	県 全域	島根県産品の販路拡大 ②県外販路の拡大	多様な流通・販売体制の確立による島根県産農林水産物の県外での販路拡大	にほんばし島根館の活用や民間企業との連携による新需要創出、県産品にデータベース化、マッチング支援等
5	県 全域	島根県産品の販路拡大 ③農林水産物等の輸出促進	東アジアをターゲットとした県産農林水産物の輸出による販路拡大	観光分野や地域産業との連携等による輸出産品の商品力の向上等
6	県 全域	地域を守る仕組みづくり	集落機能が低下している地域(集落)を多方面から守る体制の構築	森林組合等林業関係者を巻き込んだ農用地利用調整や地域貢献型集落営農の育成、新たなコミュニティーづくり

(2) 地域プロジェクト

No.	圏域	対象地域	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	取組概要等
1	雲南	全域	「奥出雲和牛」産地づくり	地域一貫生産体制による消費者が求める良質・安全・安心な「奥出雲和牛」産地の確立	繁殖育成センターの機能強化による子牛生産の拡大、繁殖牛能力の向上、地域未利用資源である「竹」の飼料活用等
2	浜田	全域	産直市を核とした地産地消推進	産直活動の育成・体制整備を通じた小規模生産者等の生産意欲の高揚と地域活力の向上	地域の農林水産物の周年供給体制整備、産直市場の整備拡充等
3	益田	高津川流域	高津川流域保全	高津川流域の森林、川、農村の原風景といった美しい地域資源や環境の保全対策の推進	木材生産団地化を通じた森林整備、漁民の森づくり、環境に配慮した農業の推進、アユ資源の復活等
4	隠岐	全域	「隠岐ブランド」育成	隠岐圏域を代表する各種特産品を特選素材産品として厳選、分野を超えた総合的な地域ブランドとして育成	共通流通販売戦略の構築、地域団体商標登録、独自認証制度、新たな流通販売形態(BOX販売等)の導入等
5	隠岐	全域	森づくりは海づくり	漁業関係者や住民理解を得ながら地域全体で漁場環境の保全や森づくりを推進	海浜清掃等漁場保全活動の推進、間伐材魚礁設置、地域と一体となった森林保全活動

② 農業・農村戦略プラン

(1) 県プロジェクト

No.	対象地域	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	取組概要等
1	県 全域	地域の特色ある米推進	多彩な地域資源を活用した他の産地にはない特色ある米づくりの推進	減農薬、減化学肥料栽培、除草剤ゼロ栽培の拡大、新品種「きぬむすめ」の生産拡大
2	県 全域	売れる商品づくりに向けた園芸産地の収益構造改革	契約生産等の安定取引の拡大、生産流通提携型の組織づくりを通じた園芸産地の新たな収益構造の構築	売り先を特定した安定取引を推進するための生産体制の整備、産地の核となる組織づくり等
3	県 全域	市場から評価される「しまね和牛」生産	市場評価の高い子牛生産や高品質で特色あるしまね和牛肉の安定的な供給の推進	能力の高い種雄牛の造成、繁殖雌牛の系統整備、酪農家との連携による受精卵移植の拡大等
4	県 全域	開発農地の営農推進	農地開発地、中海干拓地の直面する課題解決に向けた総合的な検討体制を整備し、開発農地における新たな営農の実現を目指す	有望栽培作物の導入検討、企業参入の促進、経営確立支援等
5	県 全域	経営体として発展する担い手の確保・育成	認定農業者や新規就農者など島根農業の担い手の確保・育成とともに、担い手の経営体質の強化	担い手サポート体制の整備、認定農業者、集落営農組織等担い手の規模拡大、経営多角化の支援等
6	県 全域	環境負荷軽減・資源の循環利用促進	農業生産活動や農産物の流通、消費活動における環境への負荷軽減と資源の循環利用の促進	「環境を守る農業宣言」による県民運動の展開、エコファーマーの育成、家畜排泄物等の未利用資源の活用による資源循環型農業の推進等
7	県 全域	水田の利活用促進	飼料米などの非主食用米を新たな転作作物として導入することについて、安定生産技術の確立や加工・流通体制の検討、整備を通じて耕作放棄地の解消や低利用水田の有効活用を促進	非主食用米の生産技術確立のための現地実証、実需者との連携による加工・流通体制の検討、構築、市町村等による農地利用の実態把握と情報化の推進等

(2) 地域プロジェクト

No.	圏域	対象地域	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	取組概要等
1	松江	松江市 東出雲町	産直活動のステップアップによる新鮮・安全・安心な農産物供給	J A産直システムのレベルアップによる、安全安心な地物農産物の供給量拡大	安全で安心できる農産物の生産拡大、地元飲食店や旅館等への供給や地場農産物・地域農業のファン拡大等
2	松江	松江市 東出雲町	ぼたん等園芸農産物の台湾等への輸出拡大	ぼたんの産地強化等による輸出拡大と新たな輸出農産物の開拓	ぼたん苗木生産体制、新たな冷蔵施設等の基盤整備、有利販売の推進、輸出有望農産物のマーケティング調査等
3	松江	安来市	園芸産地活性化のための担い手育成	栽培施設リース制度を活用したいちご、花き等の新規就農者の育成確保と既存生産者の規模拡大等	新規就農のための研修プログラム実施及び既存生産者の規模拡大、栽培施設のリース制度等の整備
4	松江	安来市	中山間地域担い手育成	担い手のいない中山間地域で数集落をカバーする広域集落営農組織のモデル育成	安来市農業活性化センターのサポートによるモデル地区での新たな集落営農の推進と個別担い手の育成等
5	出雲	出雲市	出雲ブランド確立	多彩な出雲地域の農産品について、「作ったものを売る」から「売れるものを作る」戦略の構築と実践	「出雲」という名の知名度を活かした新たな販路開拓、周年出荷(リレー出荷)を可能とする生産体制の確立

6	出雲	斐川町	販売を起点とした水田基幹品目の推進	販売先(消費者・卸等)の要望に応えた米、麦、大豆、ハトムギの産地づくり	環境に配慮した米づくりの推進、需要に応えた適正品種の導入、生産拡大等に対応した機械・施設の整備等
7	出雲	斐川町	野菜産地再生	タマネギ、キャベツなど斐川の野菜産地の再構築	タマネギ低温倉庫の整備検討、野菜モデル団地の設置、品目複合化による販売力の強化等
8	雲南	全域	雲南のエコロジー米	消費者や実需者(卸)の求めるこだわりの米づくりの推進	集落営農組織での作付拡大、モデル団地での堆肥施用等による品質向上、販路の拡大、加工事業との連携
9	雲南	全域	園芸の振興 こだわりの産地づくり	安全安心、おいしい、契約など、様々な「こだわり」の下に展開する園芸産地づくり	JGAP取得による「みどりちゃんブランド」の拡大、「おいしさ」を求めた果樹・野菜の生産拡大と販路確立等
10	雲南	全域	産直の販路拡大	圏域内の産地地消の充実及び産地都商(関西進出戦略)の拡大、都市消費者との交流による奥出雲ファンづくり	会員拡大、生産技術の向上、物流センター機能を持つ新システムの構築、都市農村交流ツアー等の企画
11	雲南	奥出雲町	横田国営農地再生	農地開発地における企業の農業経営の確立による開発地営農の再生	健康食品関連産品や粗飼料等の生産による営農モデルの実証及び新たな商品化、販路開拓等
12	雲南	全域	自立する集落営農組織づくり	担い手不在集落(地域)の解消、既存営農組織の経営体質強化、新規就農者の確保	地域リーダーの育成と集团的営農活動、法人化に向けた経営の多角化及び農業体験事業の実施等
13	大田	全域	「石見銀山遺跡」世界遺産登録を活用したブランド化推進	「石見銀山遺跡」世界遺産登録をビジネスチャンスととらえ、加工産品も含めた新商品開発や地域農産物のブランド化を推進	新規作物(サツマイモ等)の生産拡大、加工産品の開発による6次産業化等
14	大田	全域	耕畜連携による農業生産体系の確立及び放牧推進	受精卵移植技術を活用した肉用牛生産基盤の強化と堆肥利用システムの構築による地域内の耕畜連携の確立	自給粗飼料生産システム及び堆肥利用システム、子牛分業システムの推進等
15	大田	全域	地域を支える集落営農組織育成と獣害対策による地域農業維持	10年先に担い手育成確保が困難な地域を、どのような体制で維持していくかの仕組みづくり	組織化に至っていない集落の組織化、複数集落による組織化、地域が一体となった獣害対策の実証等
16	大田	全域	エコロジー農産物・有機農産物の生産拡大と販売促進	機能的食品、エコロジー農産物、有機農業の推進による、環境と調和のとれた農業生産の拡大と産地イメージの向上	機能的食品、エコロジー農産物、有機農業の面積拡大、販路拡大等
17	浜田	全域	新たなビジネスチャンス形成	「島根社会復帰センター」設置に伴う地域農業の新展開及び新開団地での新たな農業基地の育成	復帰センターへの食材提供、新開団地における新たな農業の生産拠点整備等
18	浜田	全域	浜田圏域農産物パワーアップ	地域の特色を活かした米や中山間地域における多彩な特産物(ピオーネ、西条柿、有機軟弱野菜など)の県外市場への定量安定販売の確立	各種特産物の安定生産と商品力向上による販路拡大、J A間連携による広島での販売強化
19	浜田	全域	地域農業を守る担い手育成システムの構築	新たな農地の流動化システムの構築による遊休農地化の減少と有効利用の推進	遊休農地解消計画、マップの作成、浜田市・江津市の広域対応の仕組みづくり等
20	浜田	全域	持続可能な農村モデル形成	中山間地域の集落機能維持や農地保全に向けた地域における仕組みづくりの推進	江津市及び浜田市弥栄地区でのモデル展開及び空き家、遊休農地、雇用情報等の共有化、田舎暮らし情報の集積、発信
21	益田	全域	西いわみ農産物の有利販売	益田圏域を代表する各種農産物や中山間地域の少量多品目の農産物を西いわみブランドとして総合的に販売する仕組みづくりの推進	市場流通、その他多チャンネル化の2本立てによる具体的な販売戦略の展開
22	益田	全域	担い手不在地域対策	中山間地域の集落機能維持や農地保全に向けた地域における仕組みづくりの推進	益田市種地区でのモデル的取組(広域的な営農の組織化など)を参考に市内各地区での展開
23	隠岐	隠岐の島町	隠岐のこだわり米	地域の特色ある米「隠岐の藻塩米」の一層のブランド化推進	商標登録、減農薬・減化学肥料による栽培、生産面積の拡大及び新たな販路開拓
24	隠岐	全域	「隠岐牛」産地拡大	放牧を核とした「隠岐牛」ブランドの発展と定着促進	公共放牧地の整備、島前・島後を一つにしたブランド化、観光連携による地元での消費拡大等
25	隠岐	全域	隠岐の産地地消マーケット展開	島内流通システムの改善による農産物の島内自給の向上	直売、学校給食、旅館等への供給システムの構築、加工による高付加価値化等

③ 森林・林業戦略プラン

(1) 県プロジェクト

No.	対象地域	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	取組概要等
1	県 全域	木材生産団地化推進	森林組合等の林業事業者が主体となった森林施業・経営の集約化(生産団地化)による原木の安定供給体制の確立	木材生産団地の設定、森林資源情報の集約化、団地における森林整備の重点実施等
2	県 全域	木材安定供給体制確立	原木の相対取引、直接販売など流通の多様化推進等による効率的な原木流通体制の整備	大口供給者との連携、広域連携など原木安定供給の枠組みづくり、県外への販路拡大、原木取引協定の締結等
3	県 全域	木材需要拡大	安定的で低価格な製品(製材)の供給体制の整備とともに、多様化した消費者(工務店、ハウスメーカー等)ニーズへの対応強化	乾燥材供給をはじめとする品質性能の明確な製品づくり、県産木材の利用促進等
4	県 全域	木質バイオマス利用促進	製材残材などの木質バイオマスの利活用を進めるとともに、地域資源活用モデル地域づくりの推進	木質バイオマスの安定供給、木質バイオマス機器の普及・PR、地域資源の利用技術・利用システムの開発等
5	県 全域	県民との協働による森づくり推進	森林・林業を社会全体で支える機運醸成を図るため、企業など多様な主体による県民参加の森づくりの推進	森づくりサポートセンターを活用した参加機会の拡大、企業の社会貢献活動との連携、水と緑の森づくりの推進等

(2) 地域プロジェクト

No.	圏域	対象地域	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	取組概要等
1	松江	全域	木材生産団地化推進	原木を加工側ニーズに応じ、低コストで安定的に供給できる仕組みづくりと効率的な木材生産活動の推進	木材生産可能な森林の団地化、施業履歴等森林情報把握・提供、成熟林の調査・情報収集、低コスト施業技術導入等
2	松江	全域	地域材供給システム構築	地域の木材関係者が一体となり、需要者ニーズに応じた地域材(製材品)の供給体制を構築	公共建築物への地域材供給システム実証・検証・構築、乾燥技術等製材品の品質向上、木材関係者のグループ化
3	出雲	全域	木材生産団地化推進	森林の施業・経営の集約化を図り、木材生産コストの軽減と森林資源情報を一元管理し需要者ニーズに応じた木材の安定供給体制を整備	木材生産可能な森林の団地化、森林情報把握・提供、路網と高性能林業機械を活用した低コスト木材生産
4	出雲	全域	出雲木づかい推進	品質の保証された乾燥材製品の供給体制構築と地域材の利用拡大	製材品高付加価値化検討と実践、公共工事や住宅での木材利用の拡大、木工教室等普及啓発
5	雲南	全域	木材生産団地化推進	木材生産に適した森林の施業・経営の集約化と効率的な木材生産の推進	木材生産可能な森林の団地化、信託経営モデル林設定、森林情報把握、路網と高性能林業機械を活用した低コスト間伐材生産等

6	雲南	斐伊川流域	森林整備協定推進	斐伊川流域上下流自治体による森林整備協定推進と地域住民等の森林・林業に対する理解促進	協定締結の推進、住民等理解促進のための体験学習実施
7	雲南	全域	菌床しいたけ生産振興	里山資源の有効活用による菌床しいたけ生産の低コスト化と高品質商品の安定供給の実現	菌床原料の安定供給、市場動向把握、消費者ニーズに応じた商品供給
8	大田	全域	木材生産団地化推進	木材生産に適した森林の施業・経営の集約化と効率的・安定的な木材生産並びに非皆伐施業や複層林化等の技術導入	木材生産可能な森林の団地化、森林情報把握・提供、路網と高性能林業機械を活用した低コスト間伐生産、非皆伐・複層林技術導入
9	大田	大田市	石見銀山地域における森林整備・保全	地域住民・NPO・企業等による森林の維持・保全を促進し、銀山周辺の森林環境の保全	森林施業・保全方法の検討・設定、活動フィールド情報提供、活動参加調整等
10	浜田	全域	木材生産団地化推進	木材生産に適した森林の施業・経営の集約化と森林所有者への収益還元を目指した効率的・安定的な木材生産	木材生産可能な森林の団地化、森林情報把握・提供、路網と高性能林業機械を活用した低コスト間伐材生産、素材生産技術研修
11	浜田	全域	浜田地域産木材需要拡大	林業・木材・住宅関係業界が参画する共同組織を核として地域材の安定供給体制の整備と石州燻煙材の販売促進	木材需給実態調査に基づく安定供給体制の検討・構築、燻煙材住宅展示会やホームセンターとの連携等販売促進活動等
12	浜田	西部地区 全域	石見地区木質バイオマス事業化	既に取り組まれている炭灰製造技術を活用した木質バイオマスの利用拡大と事業化	木質バイオマス資源調査、供給体制確立、製造施設拡大、販路開拓等
13	益田	全域	木材生産団地化推進	木材生産に適した森林の施業・経営の集約化と効率的・安定的な木材生産	木材生産可能な森林の団地化、施業履歴等森林情報把握・提供、路網と高性能林業機械を活用した低コスト木材生産
14	益田	全域	乾燥材製品の供給	乾燥施設の増設や乾燥技術の向上等による乾燥材製品の供給量増加と試験研究機関と連携して難燃化材の開発	生産・流通等実態調査分析、乾燥技術研修、建築士・製材・工務店のグループ化による乾燥材供給体制構築と販売促進、難燃化材開発
15	益田	益田市	自治会による海岸林の保全・整備推進	松くい虫被害により荒廃した海岸林における地域住民参加による森林の維持保全と森林を地域全体で支える意識啓発	施業体験、活動参画自治会の増加への取組、農協・漁協・学校等との連携活動
16	隠岐	島後	隠岐(しま)の木利用拡大	マツ材・フローリング材等島内産材の島内・外での販路の拡大と需要者ニーズに応じた供給体制を整備し利用拡大を図るとともに乾燥材供給と製造過程で発生する木質廃材の有効活用	製造原価調査・検討、乾燥材供給体制整備(廃材熱源利用によるコスト低減)、商談活動等島内外販路拡大
17	隠岐	島後	隠岐(しま)の木生産団地化	木材生産に適した森林において長期施業受委託による施業・経営の集約化と効率的・安定的な木材生産	木材生産可能な森林の団地化、森林情報把握・提供、生産コスト調査・分析・改善、路網と高性能林業機械の活用、長伐期施業を目指した利用間伐
18	隠岐	全域	原木しいたけ・林野産物振興	高品質・多収量が見込める島内クマガリ資源を活用したいたいけ生産推進と廃ホダ木や廃材等木質バイオマス資源活用促進	クマガリ原木林アーター整備、原木搬出技術研修、市場調査、販売研修、販売促進活動

④ 水産戦略プラン

(1) 県プロジェクト

No.	対象地域	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	取組概要等
1	県 全域	売れる水産物づくり推進	県産水産物の販売力強化による魚価向上と漁業経営の安定・改善	漁協の販売力強化、主要水産物の販売戦略の構築等
2	県 全域	担い手確保・育成	新規就業者の確保と魅力ある漁業経営の確立	新規就業者、意欲ある漁業経営体の育成、水産高校を中心とした地域の漁業水産物の担い手の育成等
3	県 全域	水産資源の維持培養	「資源管理」、「種苗生産・放流」、「漁場造成」の一体的な取り組みにより、悪化している水産資源の維持・培養	資源回復計画の策定と推進、重要魚種の種苗生産・放流に関する技術開発、特産的魚種の漁場造成等
4	県 全域	宍道湖・中海水産資源の維持再生	ラムサール条約に基づく登録に伴う、汽水域の特性と生態系との関連を重視した「環境保全型の漁業」の推進	宍道湖における漁業資源の維持保全(ヤマトシジミ、シラウオなど)、中海における漁業の復活(アサリ放流など)等
5	県 全域	しまねの鮎の里づくり	「しまねの鮎づくりプラン(H18.3)」に基づく、アユ天然遡上量の増大など、河川再生産力向上の推進	「しまねの鮎づくりプラン」の推進、河口、沿岸域でのアユ生態調査の実施等

(2) 地域プロジェクト

No.	地区	対象地域	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	取組概要等
1	東部	出雲	ブリ価格向上	「鮮度・品質・出雲大社の知名度」等を活かした、大社ブリのブランド化の推進	高鮮度処理、品質管理の徹底、ブランド化対策の検討等
2	東部	松江・出雲	高品質サワラの生産拡大	消費地ニーズに合わせたサワラの高品質化による魚価の向上	高鮮度処理、品質管理の徹底、出荷規格の確立等
3	東部	松江・出雲	ワカメ養殖振興	冬季における重要なワカメ養殖の収穫量向上	新技術を活用した養殖技術の定着等
4	東部	松江・出雲	意欲と能力のある担い手への支援	若い漁業者への重点的な支援による魅力ある漁業経営の確立	ベテラン漁業者等による指導チームの構築と担い手への支援活動の展開等
5	西部	大田	石東売れるしまねの水産物づくり	小底漁獲物・メダイ等の魚価向上、加工品販売額向上	高鮮度保持処理技術の開発、消費地ニーズに対応した出荷形態の確立等
6	西部	浜田	浜田地区における漁船漁業構造改革	まき網・沖底の総合的な取組の推進による水産基地「浜田」の活性化	漁業者、流通加工関係者等からなるプロジェクト組織構築による基幹漁業の各種課題解決策の展開等
7	西部	益田	益田地区における沿岸漁業活性化	新たな漁法の導入等による沿岸漁業の活性化	新たな漁法の技術開発、地元特産水産資源の管理と利用
8	西部	石見全地域	石見地域におけるアユ資源復活	アユ資源増殖の総合的な見直しと新たな取組の実践	地元産アユの種苗生産実施等
9	隠岐	隠岐	「隠岐のいわがき」ブランド化推進	安全安心なイワガキの生産拡大	隠岐版衛生管理体制の確立と生産量拡大方策の推進等
10	隠岐	隠岐	漁業の担い手確保・育成	地域が一体となった漁業就業者の確保	安定収入による漁業経営の確立と水産高校等との連携による新たな担い手の確保策の展開等
11	隠岐	隠岐	隠岐のまき網構造改革	まき網の総合的なあり方検討をし、基幹漁業の活性化を図る	まき網漁業者等からなるプロジェクト組織の設置によるまき網漁業の各種課題解決策の展開等

主な指標の将来見通

「主な指標の将来見通」は、農業・農村、森林・林業、水産業の各分野における主要施策の目的や意図を表す主要な指標について、平成19年度(18年度)を基準年として、戦略プランの終期である平成23年度末における見通しを数値化したものです。県はもとより関係者、関係機関・団体の積極的な取組や幅広い県民の参画・協働の下に、施策や事業、プロジェクト活動の着実な展開を図る上でのガイドラインです。

指 標 名		基準年(H19)	→	H23	備 考		
分野連携・共通	1 安全安心の実現	県産農畜水産物の安全・安心認証制度	-	→	創 設		
	2 地産地消の推進	産直・直売所等の販売額	1,284百万円	→	1,637百万円	関連する地域プロジェクトの積算額	
	3 環境保全・多面的機能	環境保全活動等の見学者・体験者数	4,982人	→	8,000人	海浜清掃、森でのふれあい活動、田んぼの学校等への参加者数	
農 業 ・ 農 村	1 耕地利用	①耕地面積(田)	31,468ha (H18)	→	30,795ha	[島根農林統計年報]データを基に、耕作放棄地対策等の効果を加味して算定	
		〃 (畑)	7,728ha (H18)	→	7,308ha		
		②担い手への農地集積面積	10,122ha (H18)	→	12,600ha		認定農業者、特定農業法人、特定農業団体等への集積
	3 基盤整備	③農業振興地域農用地区域内の耕作放棄地面積	1,640ha	→	0ha		
		2 農業生産	農業産出額の増加額	- (H18農業産出額 625億円)	→	28億円	H23年度末の施策による増加額を見込まない農業産出額を582億円程度と推計
	4 担い手の育成・確保	①圃場整備面積	24,780ha (H18)	→	25,200ha	計画期間(H20~23)内における新規整備距離	
		②農道整備延長距離	-	→	33.3km		
	5 農山村づくり	①認定農業者数	1,229経営体(H19.12末)	→	1,360経営体	[島根県農業経営基盤強化促進基本方針]の目標数値に近年の傾向を加味、算出	
		②特定農業法人・団体	136組織(H19.12末)	→	190組織		
		③新規就農者数	84人/年(H18)	→	90人/年		
		④農業参入企業数	10社/年	→	8社/年		農業参入支援対策開始後の参入実績により算出
	6 安全安心、環境保全	①地域貢献型集落営農組織数	0組織	→	200組織	地域貢献型集落営農確保・育成事業(H20~)における対象目標数	
		②農業集落排水事業による汚水処理人口普及率	13.3%(H18)	→	14.7%		
	6 安全安心、環境保全	①トレーサビリティ導入事業者数	17事業者	→	24事業者		
		②GAP手法導入主要産地等数	6産地	→	53産地	累計産地	
		③エコファーマー認定数	1,653人	→	2,200人	累計人数	
	森 林 ・ 林 業	1 林業生産	①林業産出額の増加額	- (H17林業産出額 46億円)	→	16億円	H23年度末の施策による増加額を見込まない林業産出額を42億円程度と推計
			②木材生産量	276,000m ³ (H18)	→	397,000m ³	木材生産量の動向に県産木材の利用促進効果を加味して算出
③木材生産団地からの木材生産量			-	→	50,000m ³	現行の森林・林業活性化プランにおける木材生産団地目標	
④乾燥木材生産量			18,400m ³ (H18)	→	26,000m ³	木材乾燥施設の稼働率向上効果を加味して算出	
2 森林整備		間伐実施面積	4,400ha (H18)	→	4,700ha	新しまね間伐推進基本方針に基づく間伐推進目標	
3 地域資源活用		しいたけ生産量	2,118 t (H18)	→	2,370 t		
4 担い手の育成・確保		新規参入者数	47人/年	→	50人/年	認定事業者	
5 安全安心、環境保全		①GAP手法導入主要産地等数	2産地	→	5産地	累計産地	
		②鳥獣対策集落協議会設置数(集落)	-	→	17協議会	鳥獣被害緊急対策モデル事業(H20~)における設置目標数	
		③山地災害危険地区新規整備着工数	-	→	77カ所	計画期間(H20~23)内における新規着工数	
		④県民協働の森づくり参加者数	50,296人	→	72,000人	県の総人口の10%程度を目標	
水 産 業		1 漁業生産	①漁業生産額の増加額	- (H17漁業生産額 260億円)	→	27億円	H23年度末の施策による増加額を見込まない漁業生産額を254億円程度と推計
	②主要魚種の販売戦略の策定		0件	→	4件		
	2 担い手の育成・確保	①漁業就業者数	4,247人(H15)	→	3,628人	2003漁業センサスから	
		②新規漁業就業者数	15人/年(H18)	→	15人/年		
		③中核的漁業者数	8組織(H18)	→	10組織		
	3 漁場整備	漁場造成箇所数(造成面積)	-	→	8カ所(2,500ha)	計画期間(H20~23)内における新規着工数	
	4 安全安心、環境保全	イワガキの認証漁業者数	0経営体	→	20経営体		

持続的に発展する島根の農林水産業・農山漁村の実現!

～地域の創意工夫と多様な主体の参画・協働による展開～

● 産業として自立する農林水産業



● 暮らしと結びついた農林水産業



● 活力ある元気な農山漁村

